

人事を尽くして 天命を待つ 堂々勝負！

誰にも負けない「**熱い**」心と「**クールな**」頭で本番を迎え撃て！！

- ◆現役生は **最後まで伸びる**！ 諦めたら「伸び」が止まってしまう。
- ◆**1教科 5～10点のアップ** → トータル50点以上＝「自己ベスト」更新
- ◆**平常心**の真価が今 試される。人の真価は、最もつらい時に見える。
- ◆**受験は団体戦**の意味が今 問われる。

★クラスのモチベーションを下げる受験生になり下がらない。

①欠席、遅刻、早退をしない。「**元気**」

②ネガティブワードを口にしない。「**できる!**」「**負けない!**」と何度も唱える。

③お互いに「**笑顔**」で励まし合う。「**不安**」や「**緊張**」は誰しもある。

●センター試験直前対策演習

①センター当日と同じスケジュールで行う。 ②センター試験と同じ会場ごとに受験する。

③得点よりも、どう「出力」できたかにこだわる。当日の自分のメンタルを想定する。

→ 残り1週間の課題を洗い出す。まだできることはある。

1月12日(土)

第1限	地歴公民	8:30～9:30	(2科目受験者)
第2限	地歴公民	9:40～10:40	(1科目受験者)
第3限	国語	10:50～12:10	→ 昼食
第4限	英語	12:50～14:10	
第5限	リスニング	14:20～14:50	

1月13日(日)

第1限	理科①	8:30～9:30	
第2限	数学①	9:40～10:40	
第3限	数学②	10:50～11:50	→ 昼食
第4限	理科②	12:30～13:30	
第5限	理科②	13:40～14:40	自己採点 14:40～

●センター試験後の動きについて 昨日のLHRの「おさらい」

▲「特別対策授業」★最後まで緊張感を維持し、共に闘い努力する雰囲気大切に★

①特別対策授業 1月22日(火)～2月22日(金) 全員が出席すべき期間

②コース変更締切 1月27(日) → 新コース授業 1月31日(木)

▲「公認欠席届」 保護者の押印を確認し、1月18日(金)までに提出する。

▲「受験番号連絡票」 「受験票」が届いたら速やかに既定の用紙に記入し提出する。

●小論文について 模試2/4(月) 講演会1/30(水)

・締切1/28(月) 厳守 模試代金18,00円

・講演会 講師 第一学習社 神田 利明 先生 ★面接が必要な人は参加する。

●面接指導ガイダンス 1/29日(火) 午後

・舟入高校版冊子「面接に勝つ」の配付、今後の指導計画について説明。

・前期、後期のどちらかで、面接が課される人は、必ず参加する。

●センター試験直前チェックリスト 持参物は今週末までに用意する。 早め早め。

◆持参物

- 受験票 写真票と切り離さない。
※写真を2枚貼り付け ※ボールペンで2カ所に記名
- 受験上の注意 (受験票とともに配付された冊子) ※必須
- 試験会場の連絡先 (手帳へメモ)
- 交通費 (少し余分に) ・交通ルートマップ、交通ダイヤ (土日)
- 生徒証
- 弁当・飲み物
- マスク・ハンカチ・ポケットティッシュ・目薬 常備薬
- 膝掛け、カイロ、防寒具、雨具
- 合間の学習用具
- 筆記用具 (鉛筆 H、F、HB 5本程度) 消しゴム、鉛筆削り
- 腕時計 (試験会場に必ずあるわけではない)
- お守り 消しカス入れ

◆試験会場に到着して確認すること

- 本部・トイレの場所 試験日程 (入室終了時刻)
- 休憩・昼食をとる場所

◆試験中の注意

- 受験番号、会場コード、試験科目等マークミスのないよう最初と最後に必ず確認
- 周囲を気にせず自分のすべきことだけに集中

◆試験後の注意

- 1日目終了後、自己採点や受験生同士で話さない (翌日の準備に集中)
 - 2日目終了後、翌日の自己採点に必要なものをセット
(すべての問題冊子、ボールペン、鉛筆、2次対策勉強道具)
 - 国公立前期試験までの日程確認
- 前・中・後期同時出願1/28(月)～2/6(木) 早めの出願＝二次対策の時間確保